

静寂な熱き戦い!!



宮食 行次

MIYAJIKI Kouji

金子 和也

KANEKO Kazuya

鳥居 陽生

TORII Haruki



日本



ポーランド



オーストラリア

2024 JAPAN PARA GOALBALL CHAMPIONSHIPS

2024ジャパンパラ ゴールボール競技大会

プログラム

PROGRAM

2024年
11月22_金~23_土

会場

所沢市民体育館

※観戦については、状況により変更となる場合があります。

JPSAオフィシャルパートナー



主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会 共催 一般社団法人日本ゴールボール協会 後援 スポーツ庁 埼玉県 所沢市 埼玉県教育委員会 所沢市教育委員会 公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



2025 JAPAN PARA

GOALBALL CHAMPIONSHIPS

CONTENTS

ごあいさつ	2
大会要項	5
大会役員／競技役員	6
大会スケジュール	7
チーム紹介	
日本代表 Team A	8
日本代表 Team B	9
ポーランド	10
オーストラリア	11
かんたんゴールボールガイド	12

JAPAN PARA History

ジャパンパラ競技大会とは、「競技力向上」や「パラスポーツファンの拡大」を目的として、日本パラスポーツ協会と競技団体が共催する、日本国内最高峰のパラスポーツ競技大会です。

陸上競技や水泳などの個人競技では参加標準記録を設けており、大会に参加するためにはその記録を突破しなければなりません。参加者は日本国内のアスリートに限定しておらず、日本国内のアスリートに加え、海外の有力アスリートが参戦することもあります。陸上競技、水泳及びアルペンスキーの大会記録は国際の公式記録としても認定される、日本国内では数少ない国際公認大会です。

車いすラグビーやゴールボールなどの競技では、海外チームを招き、日本チームの国際競技力向上を目的とした国際大会をおこなっています。世界の強豪チームのプレーを日本国内で目にするのできる数少ない大会です。



公益財団法人
日本パラスポーツ協会
会長

森 和之

この度、所沢市民体育館において、「2024 ジャパンパラゴールボール競技大会」が開催できますことを、主催者を代表して心から御礼申し上げます。

これまで本大会では女子チームの国際大会として開催して参りましたが、11回目の開催となる今回は、初めて男子チーム単独で開催致します。皆様ご存知の通り、先日開催されましたパリ 2024 パラリンピック競技大会で男子日本代表チームは念願の金メダルを獲得することができました。その世界一のチームに、オーストラリアとポーランドの強豪が戦いを挑みます。日本代表チームは、パリ 2024 パラリンピック競技大会に出場した選手のみならず、育成選手も参戦し、Team A と Team B として 4 チームで熱い戦いが繰り広げられることが期待されます。

会場にお越しいただける方は、静寂に包まれた緊張感の中で行われる緻密な頭脳戦のゴールボールを是非目の前で観戦いただき、選手たちの動きや音を感じてください。会場に足を運べない方には、今回も例年通りオンラインで試合の様子を配信致しますので、画面越しに選手たちに大きなエールをお送り下さい。必ずや大きな力になることと思います。

当協会では、「2030年ビジョン」を策定し、「パラスポーツを普及・拡大する（すそ野を広げる）」取り組みと「競技力向上を図る（山を高くする）」取り組みを「好循環」させることにより、「活力ある共生社会の実現（木を繁らせる）」を目指しています。本大会を通じて、その実現に向け着実にパラスポーツの振興が進められるものと確信しております。

最後になりましたが、大会の開催にあたりご尽力いただきました埼玉県、所沢市をはじめ、大会運営を支えてくださる競技団体、審判団、補助員の皆さま、また、会場の使用を快くお引き受けくださいました所沢市民体育館、さらに日頃から当協会の事業にご理解・ご支援いただいております協賛企業の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手達の健闘を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。



一般社団法人
日本ゴールボール協会
会長

梶本 美智子

秋も深まり、澄み渡る空気が心地よい季節となりました。皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本日は 2024 ジャパンパラゴールボール競技大会にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年は特に、長い間ゴールボール競技を支えてくださっている所沢の地で、こうして大会が開催できることを大変うれしく思います。地域の皆様のご支援とご声援に、心から感謝申し上げます。

今年は、パリで開催されたパラリンピックにおいて、日本男子ゴールボールチームが見事に金メダルを獲得するという史上初めての素晴らしい偉業を成し遂げました。選手たちが努力を重ね、夢を実現した姿は、私たち全員に深い感動と勇気を与えてくれました。この歴史的な勝利を通じて、ゴールボール競技がさらに注目され、多くの人々に愛されることを心から願っております。そして、今大会ではその金メダリストたちが2チームに分かれ、海外からの2か国と対戦いたします。世界の舞台で活躍した選手たちが再びここ所沢でプレーする姿は皆様も大いに楽しみにされていることでしょうか。この場に来られない方も YouTube 配信でも是非世界一のゲームをご堪能ください。

結びに、ゴールボール日本代表「オリオン JAPAN」のファンの皆さま、当協会の活動を支えてくださる会員ならびにオフィシャル・パートナー・プログラムご参画企業の皆さま、公益財団法人日本パラスポーツ協会の皆さまに心より感謝申し上げます。



埼玉県知事

大野 元裕

「2024 ジャパンパラゴールボール競技大会」に出場される選手の皆様、御来場の皆様、ようこそ埼玉県にお越しくださいました。心から歓迎申し上げます。

本県では、国際大会や国内主要大会において活躍する本県ゆかりの選手を輩出するため、スポーツ科学の知見に基づきアスリートの競技力向上を支援するとともに、次代を担うアスリートの発掘、育成にも積極的に取り組んでいます。

先日開催されたパリ 2024 パラリンピック競技大会では、多くの本県ゆかりの選手が選出されたゴールボール男子日本代表チームが、史上初の金メダルを獲得されました。

そのような中、本大会が埼玉県で開催されることは、パラスポーツの振興とゴールボール競技の技術向上において大変意義深いことでもあります。出場される選手の皆様が、この埼玉の地で、世界レベルの戦いを繰り広げられることを大いに期待しています。

本県は、秩父の美しい山並みや川越の蔵造りの町並みなど、多彩な見所に加え、果物やスイーツ、お茶などおいしい特産品も豊富です。是非、この機会に彩り豊かな自然や歴史、食など、本県の魅力に触れていただければと存じます。

結びに、大会の成功と今後ますますの御発展を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

GREETING



所沢市長

小野塚 勝俊

「2024 ジャパンパラゴールボール競技大会」が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、所沢市にお越しくございましたこと、心より歓迎いたします。

また、大会の開催にあたり、ご尽力いただきました公益財団法人日本パラスポーツ協会並びに一般社団法人日本ゴールボール協会の皆様には、深く敬意を表する次第でございます。

さて、皆様のご記憶にも新しいと思いますが、今夏開催されました「パリ2024 パラリンピック競技大会」において、ゴールボール男子日本代表が見事金メダルを獲得されました。また、女子日本代表も6位と大健闘をされ、男女それぞれの代表チームが全身全霊をかけて世界の強豪チームと戦う姿に、多くの方々感動を覚え、改めてゴールボール競技の魅力や素晴らしさが認識されたことと存じます。

本大会の会場である所沢市民体育館は、所沢市が全国に誇る自慢の体育館でございます。現在ゴールボールの競技別強化拠点施設の指定を受け、日頃よりゴールボール男女日本代表の練習や合宿などご利用いただいております。また、日本代表選手にご協力をいただき、市内小学校の授業にゴールボールを取り入れるなど、所沢市といたしましてもゴールボールの普及に努めているところでございます。

所沢市ゆかりのアスリートの日本代表の皆様が、ここ所沢市民体育館で躍動し、パリパラリンピックに続いてジャパンパラゴールボール競技大会においても活躍され、優秀な成績を収められますことをご期待申し上げます。

結びに、本大会のご成功と関係される皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。私の挨拶といたします。

INFORMATION

2024 ジャパンパラゴールボール競技大会 開催概要

- 目的** 国際競技規則を適用したレベルの高い競技会を、競技団体と共に開催することによって、パラスポーツの認知度を上げ、障がい者の広い社会参加を促進すること。並びに日本におけるゴールボールの競技力の向上を通じて、同競技の普及拡大を図ることを目指し、活力ある共生社会の創造に繋げていくことを目的とする。
- 主催** 公益財団法人日本パラスポーツ協会
- 共催** 一般社団法人日本ゴールボール協会
- 後援** スポーツ庁 埼玉県 所沢市 埼玉県教育委員会 所沢市教育委員会 公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
- 協力** 埼玉県パラスポーツ指導者協議会
- 日程** 2024年11月22日（金）～23日（土）（11月21日（木）は、公式練習日の予定）
- 会場** 所沢市民体育館（埼玉県所沢市並木5丁目3番地）
<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>
- 参加チーム** 男子：日本代表を含め4か国（日本代表 Team A、日本代表 Team B、ポーランド、オーストラリア）
- 競技方法** 男子4チームによる予選および順位決定戦
- 競技規則** 国際視覚障がい者スポーツ連盟ゴールボール競技規則 2022-2024 版及び別に定める大会申し合わせ事項を適用する。
- ドーピングコントロール**
本大会におけるドーピングコントロールは、WADA Code、JADA Code に基づき、実施される。
- JPSA オフィシャルパートナー**
日本航空株式会社 全国共済農業共同組合連合会 TANAKAホールディングス株式会社
東京ガス株式会社 中外製薬株式会社 三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
三菱電機株式会社 サントリーホールディングス株式会社 大同生命保険株式会社 株式会社モリサワ
トヨタ自動車株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社 東京建物株式会社
清水建設株式会社 全日本空輸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社
野村不動産ホールディングス株式会社 株式会社みずほフィナンシャルグループ 三菱ケミカル株式会社
株式会社日清製粉グループ本社 イオン株式会社 富士通株式会社
日本電信電話株式会社 電源開発株式会社 三菱地所株式会社 株式会社関電工
ENEOS株式会社 東急リバブル株式会社 株式会社INPEX
- JPSA オフィシャルサポーター**
トラスコ中山株式会社 西濃シェンカー株式会社 日野薬品株式会社 株式会社富士住建
株式会社グローリアツアーズ 株式会社JTB 大塚製薬株式会社 株式会社福祉医療共済会
住友金属鉱山株式会社

INFORMATION

大会役員

会 長	森 和之	公益財団法人日本パラスポーツ協会	会長
副 会 長	梶本美智子	一般社団法人日本ゴールボール協会	会長
顧 問	大野 元裕 小野塚勝俊 藤原 正樹 河合 純一	埼玉県知事 所沢市長 公益財団法人日本パラスポーツ協会 公益財団法人日本パラスポーツ協会	常務理事 常務理事
参 与	猪飼 聡 緒方 徹	公益財団法人日本パラスポーツ協会 公益財団法人日本パラスポーツ協会	技術委員長 医学委員長
大会委員長	君原 嘉朗	公益財団法人日本パラスポーツ協会	企画広報部長
大会副委員長	戸貝 友美	一般社団法人日本ゴールボール協会	理事
大会委員	小林 尚平	一般社団法人日本ゴールボール協会	理事
大会事務局	臼井 恵子 黒田 美穂 高橋 太斗	一般社団法人日本ゴールボール協会 屋敷 優友 吉田 葉子 堀添 里緒 (以上 公益財団法人日本パラスポーツ協会)	事務局長 成見 玲菜

競技役員

総 務	臼井 恵子	一般社団法人日本ゴールボール協会	事務局長		
審 判 員	Vilma Venckutonyte 戸貝 友美	Woradate Kultawongwattana 水野 慎治 池田 和久	Reza Dehghan		
オフィシャル	川合 歩 清水 由紀 渡辺 篤郎 山田 香代 増田 徹 沼田いづみ (以上 一般社団法人日本ゴールボール協会)	久下小百合 青木 克樹 芝木 啓佑 羽住 敏久 富田 未来	小牧 健 萩原 千尋 斎藤ましろ 小林 幸二 小野 和人	杉山沙弥香 松本千恵子 信岡 幸生 飯ヶ谷侑紀 野尻 明子	和田 智行 栃木 隆宏 小野 敬泰 松本千恵子 岩本 剛
解説員(兼務)	神谷 歩未	木村 由			
医 務 員	白石 稔				

2024 ジャパンパラゴールボール競技大会 2024 Japan Para Goalball Championships

大会スケジュール / Tournament Schedule



参加国	Country	ユニフォームカラー	Uniform color
1) 日本	Japan	白/黒	White/Black
2) ポーランド	Poland	白赤/紺青	White-red/Navy blue
3) オーストラリア	Australia	緑/黄色	Green/Yellow

2024年11月5日現在
As of 5/11/2024

11月22日 (金) / Friday, November 22 <Day 1>				
Time	Game	対戦カード / Match up cards		
10:00	G-1	ポーランド / Poland	vs	日本 A / Japan A
11:15	G-2	オーストラリア / Australia	vs	日本 B / Japan B
インターバル / Interval (30 minutes)				
13:00	G-3	日本 B / Japan B	vs	ポーランド / Poland
14:15	G-4	日本 A / Japan A	vs	オーストラリア / Australia
インターバル / Interval (30 minutes)				
16:00	G-5	日本 B / Japan B	vs	日本 A / Japan A
17:15	G-6	ポーランド / Poland	vs	オーストラリア / Australia
11月23日 (土・祝) / Saturday, November 23 <Day 2>				
10:00	G-7	1st	vs	4th
11:15	G-8	2nd	vs	3rd
インターバル / Interval (30 minutes)				
13:00	G-9	3位決定戦 / Bronze Medal Match		
			vs	
14:15	G-10	決勝戦 / Gold Medal Match		
			vs	
15:30 (予定 / Plans)		表彰式・閉会式 / Closing Ceremony		

※ 11/22 1試合 75分 / インターバル 30分 75 minutes per match / 30 minutes interval

※ 11/23 1試合 75分 / インターバル 30分 75 minutes per match / 30 minutes interval

PROFILE

チーム紹介 日本代表 Team A



萩原 直輝

Naoki HAGIWARA

背番号/Jersey Number 2
生年月日/Date of birth 1996/10/28
クラス/Classification B3



田口 侑治

Yuji TAGUCHI

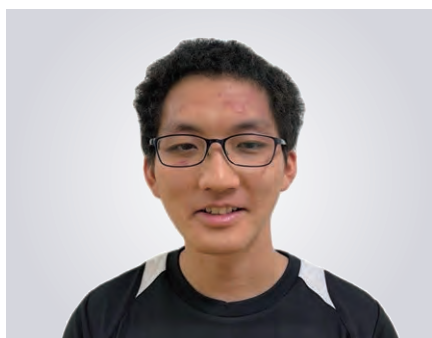
背番号/Jersey Number 4
生年月日/Date of birth 1991/2/16
クラス/Classification B2



山口 凌河

Ryoga YAMAGUCHI

背番号/Jersey Number 5
生年月日/Date of birth 1997/1/5
クラス/Classification B1



山本 秀幸

Hideyuki YAMAMOTO

背番号/Jersey Number 6
生年月日/Date of birth 2006/2/18
クラス/Classification B3



金子 和也

Kazuya KANEKO

背番号/Jersey Number 7
生年月日/Date of birth 2000/2/8
クラス/Classification B3
Captain



永野 陽希

Haruki NAGANO

背番号/Jersey Number 9
生年月日/Date of birth 2003/3/18
クラス/Classification B3

TEAM STAFF

工藤 力也
Rikiya KUDO

ヘッドコーチ
Head Coach

辻 美穂子
Mihoko TSUJI

アシスタントコーチ/トレーナー
Assistant Coach/Trainer

チーム紹介 日本代表 Team B



佐野 優人
Yuto SANO

背番号/Jersey Number 1
生年月日/Date of birth 2000/6/20
クラス/Classification B3



鳥居 陽生
Haruki TORII

背番号/Jersey Number 2
生年月日/Date of birth 2004/8/7
クラス/Classification B3



信澤 用秀
Yoshu NOBUSAWA

背番号/Jersey Number 3
生年月日/Date of birth 1986/7/4
クラス/Classification B1



行弘 敬祐
Keisuke YUKUHIRO

背番号/Jersey Number 6
生年月日/Date of birth 1999/11/15
クラス/Classification B3



宮食 行次
Koji MIYAJIKI

背番号/Jersey Number 8
生年月日/Date of birth 1995/3/20
クラス/Classification B3
Captain



川嶋 悠太
Yuta KAWASHIMA

背番号/Jersey Number 9
生年月日/Date of birth 1994/9/24
クラス/Classification B2

TEAM STAFF

塚越 晶子 ヘッドコーチ
Akiko TSUKAGOSHI Head Coach

徳永 梨沙 アシスタントコーチ
Risa TOKUNAGA Assistant Coach

林 忠右 トレーナー
Tadasuke HAYASHI Trainer

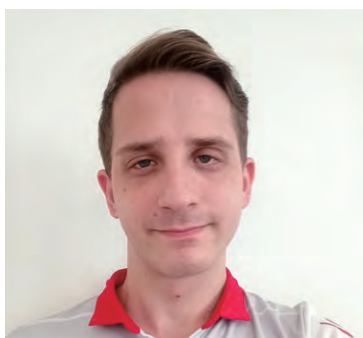
PROFILE

チーム紹介 ポーランド代表



Marcin CZERWINSKI

背番号/Jersey Number 8
生年月日/Date of birth 2004/10/13
クラス/Classification B2



Dawid NOWAKOWSKI

背番号/Jersey Number 9
生年月日/Date of birth 2000/2/13
クラス/Classification B3
Vice captain



Szymon TYBURSKI

背番号/Jersey Number 2
生年月日/Date of birth 2002/9/3
クラス/Classification B3



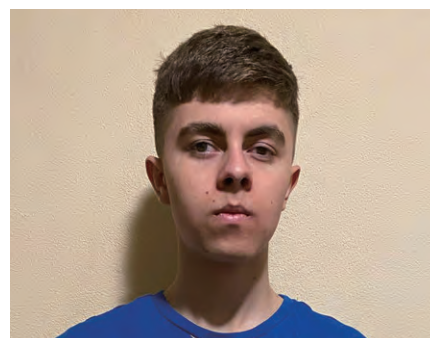
Bartłomiej NIESYCZYNSKI

背番号/Jersey Number 6
生年月日/Date of birth 1997/2/3
クラス/Classification B2
Captain



Marcin LISOWSKI

背番号/Jersey Number 5
生年月日/Date of birth 1995/11/9
クラス/Classification B1



Filip KLACZKIEWICZ

背番号/Jersey Number 4
生年月日/Date of birth 2005/5/18
クラス/Classification B2

TEAM STAFF

Piotr SZYMALA Coach

Filip SZYMALA Assistan Coach

Michał SOBLIK Physio

チーム紹介 オーストラリア代表



Isaiah MULLER

背番号/Jersey Number 3
生年月日/Date of birth 2005/11/1
クラス/Classification B1



Daniel PRITCHARD

背番号/Jersey Number 2
生年月日/Date of birth 1994/8/24
クラス/Classification B2



Sidney WHIPP

背番号/Jersey Number 9
生年月日/Date of birth 2005/6/26
クラス/Classification B2



Matthew BOWRY

背番号/Jersey Number 7
生年月日/Date of birth 1999/6/6
クラス/Classification B3



Robbie DUNIA

背番号/Jersey Number 6
生年月日/Date of birth 1998/11/21
クラス/Classification B3



Daniel MORRISH

背番号/Jersey Number 5
生年月日/Date of birth 1989/2/2
クラス/Classification B2

TEAM STAFF

Andrew RIDLEY Head Coach

Craig MULLER Assistant Coach/Manager



かんたん!
ゴールボールガイド

▶ 競技の概要

① チーム編成

1チームは最大6名・ベンチコーチが3名で編成されます。コート上には選手3名が出場します。選手は全員アイシェード(目隠し)を装着し、見えない状態でプレーします。



② 競技用具

ボール

バスケットボール(7号球)とほぼ同じ大きさです。しかし重さは1.25kgで、バスケットボールのほぼ2倍です。



ゴール

高さ1.3m×幅9mでサッカーのゴールのようにネットが張ってあります。



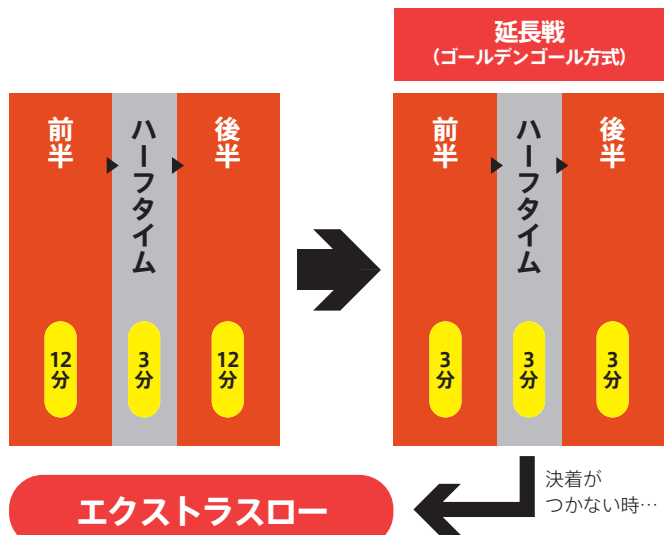
アイシェード

障がいの程度(視力や視野)によって競技力の差が出ないように、選手は完全に目隠しをして同じ条件のもとで競技を行います。また、アイシェードの下にはアイパッチが貼られていて、徹底して視覚がふさがれています。試合前にも審判が各選手のアイシェードをチェックすることで、公平性を保っています。



③ 競技時間

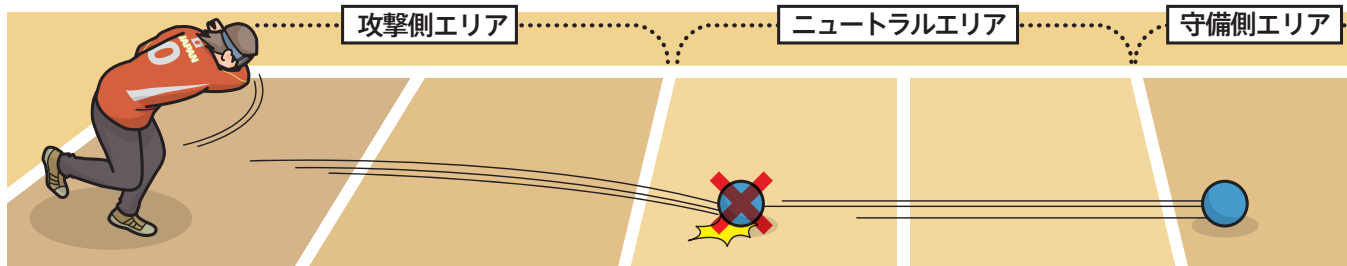
1試合は12分ハーフの合計24分間で行われます。前後半の間には3分間のハーフタイムが入ります。同点で前後半を終了した場合は、3分ハーフの延長戦(合計6分間)を行います。どちらかが得点した時点で勝敗が決定するゴールデンゴール方式です。延長戦でも決着がつかなかった場合は、1対1で投げ合うエクストラスローで決着をつけます。試合中、チームは1回45秒のタイムアウトを前後半で合計4回取ることができます。そのうち1回は前半に取らなければならない、もし取らなかった場合は1回分のタイムアウトが自動的になくなってしまいます。延長戦では前後半を通じて1回のタイムアウトを取ることができます。



▶ ペナルティスローになる反則

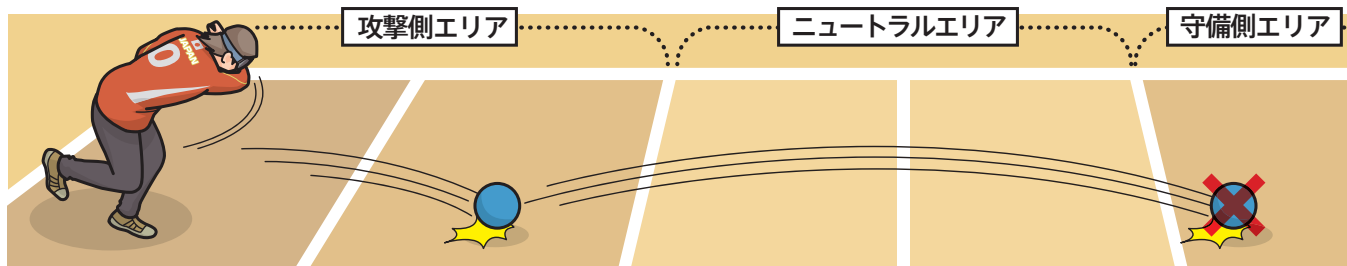
ハイボール

投球されたボールは、攻撃側のオリエンテーションエリアまたはランディングエリアでバウンドさせなければなりません。



ロングボール

投球されたボールが攻撃側のオリエンテーションエリアまたはランディングエリアでバウンドした後、ニュートラルエリアでもバウンドさせなければなりません。



ショートボール

投球されたボールが、相手側のチームエリアに届かなかった場合、反則となります。

アイシェード

審判の許可なくアイシェードに触れてはいけません。

ノイズ

投球者を含め、攻撃側のチームは守備側に不利になるような音を出してはいけません。

10セカンズ

投球されたボールを、守備側の選手が初めて触れてから10秒以内にセンターラインを越えるように投げ返さなくてはなりません。

イリーガルコーチング

オフィシャルブレイク中(ゲームタイマーが止まっている間)以外に、ベンチにいるコーチ等がコート内の選手に指示することは禁止されています。

▶ ボールの所有権が移る反則

ボールオーバー

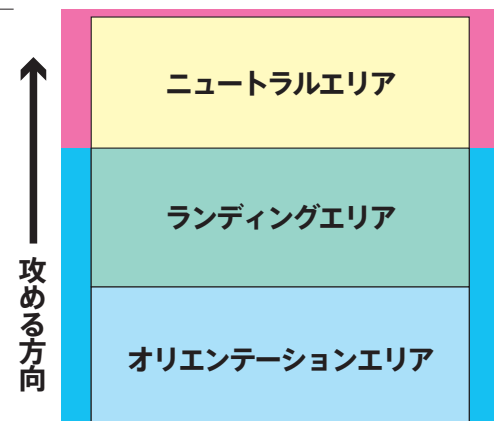
守備により跳ね返ったボールがセンターラインを越えたり、ニュートラルエリアのサイドラインを越えてコート外に出た場合は相手ボールとなります。

プリマチュアスロー

投球は審判の「プレー！」のコールの後に行わなければなりません。

デッドボール

投球したボールが相手選手に触れることなくチームエリア内で止まった場合は反則となり、相手チームのボールになります。



守備でボールをはじいた場合、青のサイドラインからボールが外に出たら自分たちのボール、赤のサイドラインから外に出たら相手ボールで試合が再開されます。

▶ 基本テクニック

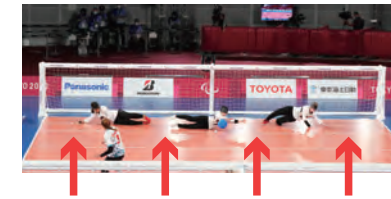
とにかくコミュニケーションが大事!

視覚で味方や相手を確認できないゴールボールでは、声を出してボール、相手の位置、動き、自分の位置を的確に仲間に伝え、3人の意思疎通を図ることが重要です。床を叩いて自分の位置を教えることもあります。



狙いを定めるコースは「間」

攻撃では選手と選手の間やゴール隅の隙間を狙い投球します。例え相手の守備に投球が触れられてしまっても、胴体ではなく、腕や脚に当たればボールの勢いそのままにゴールへ吸い込まれる可能性があります。



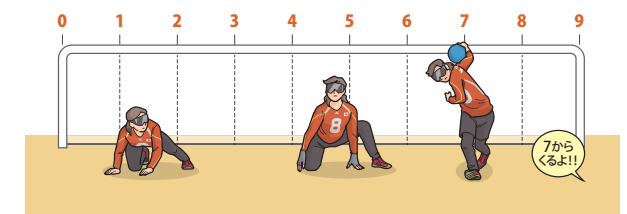
「はじく」のではなく「止める」

10秒以内にボールを投げ返しセンターラインを越えなければいけない「10セカンズ」というルールがあります。選手たちは身体を投げ出してゴールを守りますが、もし守備でボールをはじいてしまうとボールを確保するまでにも時間を使ってしまい、思い通りの攻撃に移ることができなくなってしまいます。そこでボールをはじくのではなく、止めることを選手たちは意識してプレーしています。まさに守備は攻撃の第一歩と言えます。

日本独自の注目テクニック

「位置を数字に置き換える」

下の図のようにゴールを9分割し、その位置を数字に置き換え、ボールを持つ相手の場所などを共有します。これは日本独自のテクニックで、これにより攻守における緻密な戦い方を実現しています。



▶ 応用テクニック

味方同士のパス交換

お互いが声を出し合い、位置を確かめてからパスを交換することがあります。床に転がしてパスする場合もありますが、直接手渡してパスをすると音がしにくいので、相手にボールのありかを把握させにくい効果があります。



フェイントによる揺さぶり

投球時に、複数の選手が同時に動くことで、誰が投球するか相手にわかりにくくします。



移動攻撃

自分の守備位置を離れ、投球後には速やかに元の位置に戻るのが移動攻撃。自分や味方の位置を完全に把握していなければならない技術です。



バウンドボールやカーブ

ボールに回転をかけたり、強い力で床にボールを叩き付けて投球することで、相手の守備を飛び越えてゴールを狙います。特に男子選手の試合で見られ、守備側も空中のボールをストップさせる技術が必要です。

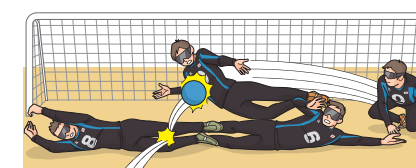


速攻

ボールを捕球後にすばやく投げ返す攻撃で、移動攻撃などで守備が整っていないうちに攻撃を仕掛けます。守備でボールに集中しているながらも、相手選手の様子も観察し、チャンスと判断したら速い攻撃に移ります。

カバーリング

バウンドボールなど多彩な攻撃で得点を狙う一方で、守備ではそんな攻撃に対抗すべく、守備を乗り越えてしまったボールをゴール前で死守するカバーリングを行っています。



Column

瞬時のレスポンスがスゴイ！

音を頼りにプレーする選手たちですが、男子のトップ選手になるとその球速は初速で時速60～70kmとされています。例えば、ボールがランディングエリアでバウンドした位置から、守備側の選手が構える位置までの距離は約9m。もし時速70kmのボールを投げたとすると、約0.5秒で守備位置までボールが到達する計算になります。つまり、選手たちは0.5秒の間にどの方向にどんなボールが来るかを判断し、反応しなければなりません。トップ選手になれば、投球前の助走の足音でその方向を予測し、最初にバウンドした音で高いバウンドのボールなのか、鋭く低いボールなのかなどを判断して守備するといわれています。選手たちの研ぎ澄まされた感覚に注目してみてください。



約9mを0.5秒で到達することも！

▶ 応援ガイド

選手は、ボールの中に入った鈴や、相手選手が動く足音など、かすかな音を頼りにプレーしているので、試合は静寂の中で行われます。選手に声援を送ることができるのは、オフィシャルブレイク中(ゲームタイマーが止まっている間)のみ。大会では音楽を流して応援できるタイミングがわかるよう工夫しています。その間には盛大に声援していただき、選手がプレーしている間は応援したい気持ちをグッとこらえて、心の中で声援を送ってください。選手たちはそれを力に代えて、果敢にプレーします！プレーが始まる前に審判が「クワイエットプリーズ！(Quiet Please!)」(お静かに！)のコールをします。これが静かにする合図。ゴールが決まった直後やゲームタイマーが止まった時だけ大きな歓声を送ってください。



パラリンピックでは客席が観客で埋め尽くされますが、プレー中の会場内は静寂に包まれています



選手も得点が入ると声を出して喜びを表します



静かにしなければいけないタイミングはボードを掲げて観客に周知します

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



Japanese
Olympic
Committee



この活動は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています

まっすぐ努力。
まっすぐ楽しむ。
まっすぐ、挑む。



心から喜んだり、悔しがったり。
スポーツで気持ちが動くのは、
君が本気の証だ。

真正面にスポーツと向き合うから
君も、周りの人たちも、熱くなる。

これからも、真なる想いで
まっすぐに。

さあ、クリーンに挑み続けていこう。



スポーツを 愛する人の 翼でありたい。



大きな目標に向かって、日々練習に励む人たち。

みんなで力を合わせて、次世代に夢や希望をつないでいく人たち。

JALは、そんな勇気あふれるアスリートたちに寄り添いながら、

一人一人の未来を応援し続けます。

さあ、これからも次の自分に向かって、力強く飛ぼう。





いっしょに、明日へ。

誰もが同じように、笑顔で暮らせる毎日へ。
そのために大切なことは、みんなで、支え合って、助け合って、
みんなで、一緒に、進んでいくこと。
暮らしのさまざまな場面での支援を通じて、
私たちJA共済も、できることをひとつずつ。

ずっとつづく、絆をつくろう。

 **JA共済**

地球を
「つづく」にする
貴金属。



貴金属めぐらして、
コツコツと地球の未来を支えたい。

素材や部品から、資産用、宝飾品まで。
私たちは貴金属をいろんなカタチに変えて、
夢や喜びを未来へつないでいきます。



田中貴金属は、
日本パラスポーツ協会を
応援しています。



目の見えない僕を支える、 目に見えない力。

史上初めて延期となった東京パラリンピック大会。
開催を願いながらも、先が見えない不安な日々
心が押しつぶされそうになっていた。

進むべき道を見失いかけた僕を支えてくれたのは、みんなの声と想い。
たとえ、目に見えない小さなエネルギーだったとしても、
それこそが、目の見えない僕を前へと進める大きな原動力となった。

「金メダル」という重圧から解放された今、僕が目指すのは
あらゆる人の可能性を広げ、だれもが挑戦しやすい社会をつくること。
僕の挑戦がだれかの心を、明日を動かすエネルギーになる。
そう信じて、これからも挑戦を続けていく。

人によりそい、
社会をささえ、
未来をつむぐエネルギーになる。

 TOKYO GAS



東京ガスは、日本パラスポーツ協会を応援しています。



「全盲のスイマー」

木村 敬一

(きむらけいいち/東京ガス)

1990年滋賀県生まれ。先天性疾患により
2歳で全盲に。小学4年生から水泳を始め、
様々な国際大会で日本代表として参加し、
東京パラリンピック大会で金メダルを獲得。



やってみようからはじめよう



笑顔の先に未来がひろがる



すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ

DREAM AS ONE.

ともに一つになり、夢に向かって。

三菱商事はDREAM AS ONE.プロジェクトで、
パラスポーツの応援を通じて
インクルーシブ社会の実現を目指します。

写真上：パラ水泳(視覚障がい)
辻内 彩野

写真下：パラ水泳(知的障がい)
木下 あいら

ともに三菱商事所属

日本パラスポーツ協会(JPSA)オフィシャルパートナー
日本パラリンピック委員会(JPC)オフィシャルスポンサー
日本パラ水泳連盟(JPSF)オフィシャルサポーター
日本知的障害者水泳連盟(JSFP)オフィシャルパートナー

パラ水泳・競泳

CHIKAKO ONO



パラ卓球

KOYA KATO



パラ陸上

TAKUYA SHIRAMASA



スキー・ジャンプ

RIKO SAKURAI



水泳・競泳

WAKA KOBORI



ゴルフ

NANA SUGANUMA



車いすバスケットボール

KEI AKITA



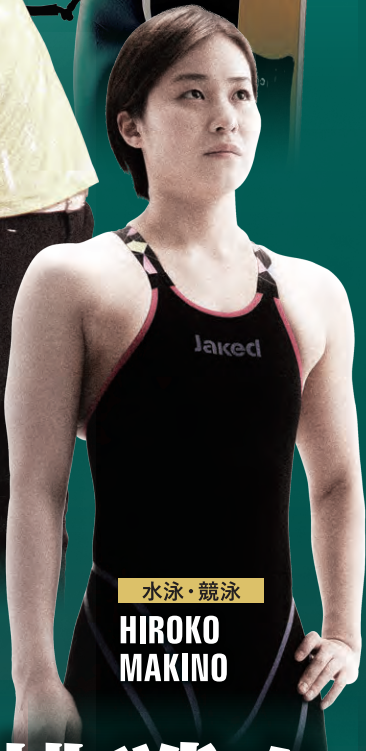
マラソン

YUKI KAWAUCHI



水泳・競泳

HIROKO MAKINO



ワクワクするような挑戦を

あいおいニッセイ同和損害保険は、挑戦するアスリートとともに成長していきたいという想いのもと、全社員が一丸となって、スポーツ支援を行っています。

パラ卓球

KYOKO EBISAWA



パラ水泳・競泳

KEICHI NAKAJIMA



パラ水泳・競泳

SATORU MIYAZAKI



デフサッカー

TAKUMI MATSUMOTO



立ちどまらない保険。

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



AD Challenge Support



挑みつづける。
次の自分に会うために。

自分の最大の武器は、
決してあきらめない強い気持ちだ。
的のど真ん中を打ち抜くために、
あらゆることに挑みつづけてきた。
勝利の瞬間のガッツポーズを思い描き、
大切な人たちのエールを胸に、
今日も夢に向かって弓を構える。

上山 友裕 選手 アーチェリー リカーブ
三菱電機株式会社 伊丹製作所 総務部 勤務

2024年9月 パリ2024パラリンピック競技大会出場
2023年10月 杭州2022アジアパラ競技大会
リカーブ男子個人銀メダル、リカーブMIX銅メダル
2023年7月 パラアーチェリー世界選手権大会
リカーブMIX銅メダル
2022年2月 パラアーチェリー世界選手権大会
リカーブ男子個人金メダル
東京2020パラリンピック競技大会、リオ2016パラリンピック競技大会出場

誰もが自分の夢にチャレンジできる社会へ。
三菱電機はこれからもその実現に向けて活動していきます。



三菱電機は、日本パラスポーツ協会を
応援しています。



SUNTORY

PASSION
FOR
CHALLENGE



PASSION FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE
FOR CHALLENGE

PASSION
FOR
CHALLENGE

PASSION
FOR
CHALLENGE

ともに迷う。
ともに悩む。
ともに鍛える。
ともに戦う。
ともに勝つ。

ひとりじゃ
行けないところまで。

#ともに戦う
#PASSION FOR CHALLENGE
#SUNTORY



サントリーは、日本パラスポーツ協会の
オフィシャルパートナーです。



サントリーは、日本車いすバスケットボール連盟の
オフィシャルパートナーです。

水と生きる **SUNTORY**

あなたの挑戦する姿が、 私たちみんなの勇気になるから

大同生命は1992年※から「全国障害者スポーツ大会」に特別協賛し、
多くの仲間がボランティアで運営に参加しています。



第24回全国障害者スポーツ大会 「わたSHIGA輝く障スポ」(2025年10月開催)に向かって

※全国障害者スポーツ大会の前身となる「全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)第1回東京大会(1992年)」より特別協賛を継続

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

大会特別協賛

DAIDO 大同生命保険株式会社

JPSA 日本パラスポーツ協会オフィシャルパートナー

障がい者スポーツの
支援に関する大同生命
の取組みはこちら



前例って作って行くものでしょ。



世界に 先駆ける モリサワ の 奮闘

モリサワは、パラアスリート佐藤友祈を応援しています。株式会社モリサワのパラスポーツ支援についてはこちら▶





トヨタタイムズ スポーツ

トヨタアスリートの全てを発信する
トヨタタイムズスポーツ
公式アプリが登場!!

ダウンロードはこちら ▶▶





Envision new possibilities for humanity in nature



株式会社ゴールドウインは、JPSAのオフィシャルパートナーです

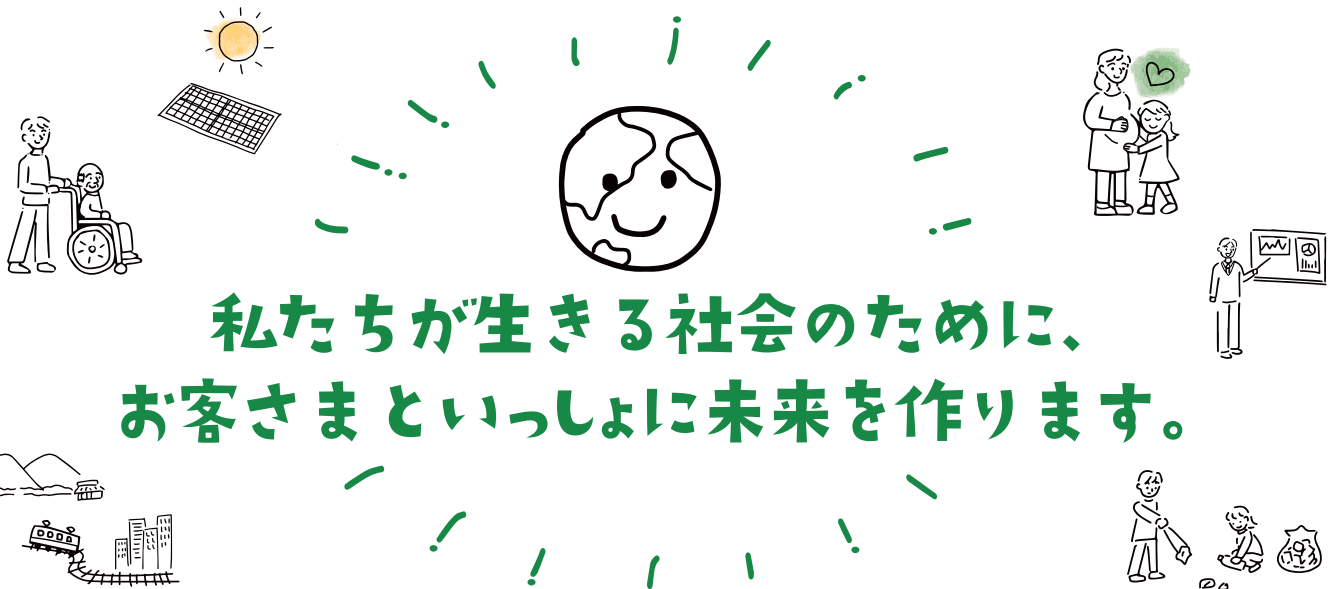
違いを認め合える社会に向かって



ボッチャをはじめとするパラスポーツの体験・支援を通じて、共生社会の実現に向けた地域との連携を強化。



鉄道弘済会義肢装具サポートセンターと連携して、義足体験などの「違いを知る」取組みを推進。



私たちが生きる社会のために、 お客さまといっしょに未来を作ります。

この世界で暮らす一員として

安全と安心のために



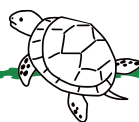
脱炭素社会実現に向けた新たなまち「カワサキデルタ」。みんなが暮らしやすいまちへ。



生物多様性に貢献し、みんなで育てる「竹芝干潟」。



「スマートホームドア®」導入・故障時訓練実施により安定輸送実現。



建物をつくるだけが、まちづくりじゃない。

人とまちに寄り添って。

受け継ぐものと新しいものをつないで。

今よりよくなることを、みんなの未来が変わることを、

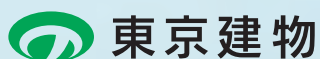
そう、“次の物語”を、ひとつひとつ生み出していく。

それが、東京建物のまちづくり。

私なら、どんなまちをつくっていきたいだろう。

ワクワクしながら、あなたも一緒に考えてみませんか。

まちと、 あなたと、 次の物語を。



サステナビリティパートナー・AI



都心に本物の森？



なんでも
つながっちゃうまち？



みんなで作る
未来のまち？



みんなが主役に
なれるまち？



地域密着のまちづくり？



住まいに多様性？

建物だけじゃない東京建物？ WEBで公開中！

東京建物 CM





子どもたちに誇れるしごとを。

いつの時代も変わることのない、子どもたちが空想する夢の世界。「こんなものがあつたらいいな」「いつかきつとつくりたい」

私たちの夢や希望は、自然の中で身近な道具を使ってカタチにしたあの頃から、少しも変わることがありません。

ずっと思い描いてきた未来を建造物に込めて、次の世代に伝えていく。

それが、私たち清水建設の「しごと」です。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設



清水建設は、日本バラスポーツ協会を応援しています





旅のすべてが、 シネマチック



※イメージです。

世界へ行くなら、ANA

あなただけのシネマチックな旅の体験がここから始まる。



詳しくは
ANA公式サイトへ

東京海上日動はJPSAの活動を応援しています。

マングローブの森づくり。 それは、豊かな地球を 未来に届けること。

東京海上日動が1999年から続けているマングローブの森づくり。
小さな苗木は大きな森に育ち、多くの二酸化炭素を蓄えるようになりました。

様々な生き物を育み、豊かな恵みをもたらし、
人々の暮らしを守る役割も果たしています。

そして今も、私たちは、その森をつくり続けています。
マングローブ植林は「地球の未来にかける保険」です。

これからも、ともに未来へ。

マングローブ価値共創100年宣言



地球温暖化防止への貢献



地域の経済・社会への貢献



生物多様性の保全



東京海上日動

www.tokiomarine-nichido.co.jp

To Be a Good Company

BEST



PART

NER

全力の今日が、
未来をつくる。

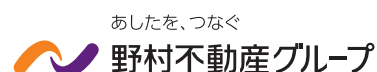
かけがえのない未来を築くために
持ちうるすべての力を活かしてチャレンジし続ける。
今この一瞬を大切にする挑戦者たちを
野村不動産グループは応援しています。



[写真・上] 長野凌生 (ながの・りょう) 1997年東京都出身 男子S21(自由形50m/100m) [写真・下] 西勇輝 (にし・ゆうき) 1994年東京都出身 男子T54(100m/400m/800m)
ともに野村不動産パートナーズ株式会社所属



野村不動産グループは、JPSAのオフィシャルパートナーです。



みずほフィナンシャルグループ

〈みずほ〉は、誰もが暮らしやすい社会、
誰もが認められ受け入れられる社会の実現に向けて、
パラスポーツを応援し、アスリートたちとともに、
未来へ向かって挑戦し続けます。

Challenge



©佐山 篤



〈みずほ〉は、日本パラスポーツ協会、日本車いすバスケットボール連盟と、
挑戦するすべての人を応援しています。

ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO

私たちは、信じています。

地球は、もっと、ここちよくできる。

人は、もっと、心豊かに生きられる、と。

“KAITEKI”。

それは、人、社会、そして地球の心地よさが
続いていくこと。

私たちは、革新的なソリューションで、
それをリードしていきます。

さあ、挑戦を続けよう。

思いをひとつに、まだ見ぬ未来へ。



三菱ケミカル株式会社

健康と信頼をお届けする



日清製粉グループ®

喜ぶ、悔しがる、泣く、笑う。

胸に刻まれるすべての感動は、

新たな夢を芽吹かせ、

また新たな感動を生んできました。

だから私たちは、

スポーツを愛し、プレーで、サポートで、応援で、

ともに夢を追いかけるすべての人を応援したい。

みんなの夢を、応援したい。

さあ、次の感動が生まれる未来へ。

今をひたむきにごんばれる人に

これからもずっとずっと、

健康と信頼というエールを届けていきます。



おかげさまで、



日清 フラワー70周年
2025

日清製粉グループは、日本パラスポーツ協会を応援しています。

レシートをボックスに入れる。
必ずだれかのためになる。



じぶんの買物でだれかを幸せにするしくみ。
イオン 幸せの黄色いレシート
since 2001

毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。

毎月11日、イオンのレシートは黄色になります。応援したいボランティア団体を選んで専用BOXにレシートをご投函いただくと、お買い上げレシート金額合計の1%分の品物をその団体に寄贈します。

FUJITSU

Fujitsu Sports

挑戦に終わりはない



スポーツには勝利の追求だけでなく、
さまざまな社会課題を解決し、
よりよい世の中を作っていく力があります。

富士通はパラスポーツ団体への協賛を通じて
パラスポーツの普及・選手強化をサポートし、
協賛企業・アスリートと共に DE&I を学び、
理解を深める取り組みを行っています。

FUJITSU
TRACK & FIELD
TEAM



【公式】富士通陸上部
兎澤朋美プロフィール

人を幸せにする技術だけで、
この星も幸せにできるだろうか。

森も、海も、風も、人も、
同じ空の下で生きている。つながっている。

私たちのイノベーションは、
人と地球、そのどちらも明るく照らすためにある。

みんなが幸せじゃなきゃ。

挑む。
人と地球のために。



NTT 公式
ホームページ



♪ 「パワ」をいよする 今と未来をよくする ♪ 「パワ」

電気がなければ、今の社会は動きません。
新しいエネルギーがなければ、
未来の地球は守れません。

一人ひとりのしあわせのために、
世界をもっとよくするために。
今を支えて、未来を変える。

J-POWER、
それは、世界のパワーになる仕事です。

 BLUE
MISSION
2050

今と未来をよくするパワー

 J-POWER

 JPSA
JAPAN PARASPORTS ASSOCIATION

J-POWERは、日本パラスポーツ協会を応援しています。

三菱地所と次にいこう。

私たちが目指すのは、10年先の未来だけじゃない。
50年、100年、時には2000年先までも、
いまを生きながら、歴史を振り返りながら、
「次」の街と、「次」の人を想いつづける。

そうは言っても、未来はきつと、
私たちの想像を超えてくる。

だから、無茶と思われる夢さえも描いていく。
さあ一緒に、次にいこう。



人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

80TH

おかげさまで80周年。



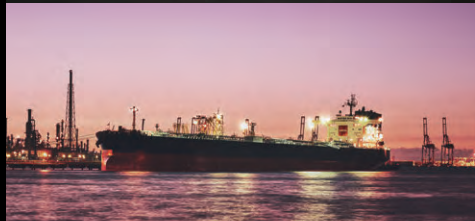
私たちはずっと、つないできました。
暮らしを支える総合設備企業として、
ライフラインをつなぐことで、
街を、歴史を、未来へとつなぐ仕事。
考えて、創り出して、支え合って、
よりよい環境へ、安心・安全な未来へ。
みなさまへの感謝と使命を胸に。
新しい世代と共に技術を進化させながら、
これからもずっと、つなぎつづけていきます。
ひとりひとりが、未来を灯す。



 **関電工**

社員ひとりひとりの手で関電工の歴史を描き出す
80周年記念ムービーを制作しました。ぜひご覧ください。





「今日のあたり前」を支え、 「明日のあたり前」をリードする。

何気ない暮らしを、不断の努力とリーダーシップで支えつづける
変化を楽しみ、多様な人・技術・アイデアの掛け算の発想で、挑みつづける

日々の暮らしの中の、あたり前のような景色。
それらは、「あたり前」にそこにある訳ではない。

「今日のあたり前」の生活があたり前でなかった時代から、
私たち ENEOS グループは常に先駆者として、
その時々の日常に不可欠なエネルギー・素材を
開発し支えることに全力を注いできた。

そして今、脱炭素・循環型社会という、
「明日のあたり前」の実現へ。
そのためには、
次世代のエネルギー・素材・サービスが求められている。

私たちはこれからも先頭に立って挑戦し、
次なるあたり前を創りつづける事で、
常に社会から信頼され、求められる存在でありたい。



ENEOSグループ



誰もが
自分らしく
輝ける未来へ

東急リバブルは日本パラスポーツ協会の
オフィシャルパートナーです。

つなぐ。答えへ。未来へ。



人生にはエネルギーがいる。

恋も。夢も。

旅をすることだって。

INPEXはエネルギーを
探し、届けつつける。

毎日の、未来への、
あなたの笑顔のために。

エネルギーに
新しい風

日本最大規模のエネルギー開発企業

INPEX

INPEX
公式ホームページ



SDGsへの取組みは
こちらから



INPEXは、
日本デフビーチバレーボール協会を
支援しています。



INPEXは、
日本障がい者サッカー連盟の
教育プログラムに協賛しています。



INPEXは、
JPSPAオフィシャルパートナーです。

トラスコ中山の「ありたい姿」

「最速」「最短」「最良」 の納品を実現したい



2026.7
OPEN!

トラスコ最大!

在庫アイテム数

1,000,000 sku

出荷行数(全国対応)

100,000 行/日

「がんばれ!!日本のモノづくり」®

当社はプロツール（工場用副資材）の供給を通じて、日本のモノづくりのお役に立つ続ける企業でありたいと考えています。モノづくりに必要とされるプロツールの在庫を全国28か所の物流センターに配置し、そのアイテム数は約58万点に及びます。即納こそ最大のサービスと考え可能な限り当日納品でお応えしてまいります。

完成イメージ図

物流センター「プラネット愛知」(愛知県北名古屋市)

敷地面積:12,595坪 延床面積:27,184坪

国内拠点 89 か所

本社 2 か所

国内営業拠点 59 か所

国内物流拠点 28 か所

海外拠点 5 か所

現地法人 トラスコナカヤマタイランド
トラスコナカヤマインドネシア

仕入先開拓オフィス
ドイツ、台湾、タイ

※令和5年(2023)6月1日時点



トラスコ中山株式会社

プロツール（工場用副資材）専門商社

東京本社：東京都港区新橋四丁目28番1号トラスコフィオリートビル

大阪本社：大阪府大阪市西区新町一丁目34番15号トラスコグレンチェックビル



Delivering solutions.

DB SCHENKER

スポーツイベント用の貨物輸送なら、
DB SCHENKER **sportsevents**

DB シェンカークループのスポーツイベント貨物輸送サービス

DB シェンカーが全世界に展開するロジスティクスネットワークを活かして世界中的ところへでも、皆様の大切な貨物を指定の時間内に確実にイベントへお届けすることをお約束いたします。

世界の主要なスポーツ大会開催地の全てに拠点をもち、経験豊かなイベント専門スタッフが各国の通関手続き、設置に必要な機器の提供など貨物の円滑な取扱いを保障いたします。 www.schenker-seino.co.jp

電話：03-5769-7380

FAX：03-5769-7381

tyo.messe@schenker-seino.co.jp

NAQI[®] SKIN CARE INNOVATORS

NAQI 商品は理学療法士とプロ選手の意見を取り入れ
ベルギーで開発されたマッサージローションです。



日野薬品株式会社

フリーダイヤル : 0120-898-004

H P : <http://www.hinopharm.co.jp>



日野薬品株式会社は、日本パラスポーツ協会を応援しています。

しあわせな時と場所を

私たちは家づくりを通して、
ご家族の「しあわせな時と場所」を応援します。



完全フル装備の家[®] 富士住建



富士住建は
障がい者スポーツを
応援しています。



がんばれ、アスリート!



グロリアは 障がい者スポーツを サポートします!



<http://www.gloria-tours.jp>



日本パラスポーツ協会オフィシャルサポーター



株式会社 グロリアツアーズ

〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-30 CoSTUME NATIONAL Aoyama Complex 2F
TEL : 03-6826-3434 FAX : 03-6826-5535



スポーツに寄り添い、 楽しい未来を創り上げる。

スポーツが生み出す感動を、
よりディープに、力強く広げたい。
JTB SPORTS は、スポーツビジネスの未来を加速させます。

JTBは日本パラスポーツ協会を応援しています

スポーツ大会・遠征・合宿に関するご相談は

JTB スポーツデスクへ!

スポーツ参加・観戦ツアーは
JTB スポーツデスク
ホームページでチェック!

<https://www.jtb.co.jp/sports/>

JTB スポーツデスク

検索



「JTB スポーツデスク」で検索 または
こちらからアクセスしてください

株式会社 JTB スポーツマーケティング事業部 JTB スポーツデスク

〒163-0454 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 54 階

TEL : 03-5909-8090 FAX : 03-5909-8100

営業時間：月～金 09:30～17:30 土日祝日休み

夢をつかみたい人につかんでほしい。

覚えておいてください。

夢に向かってがんばるあなたは、

がんばった分だけリスクを抱えています。

必要なのは、努力+メンテナンス。

<ボディメンテ>は、植物由来の乳酸菌B240の力で

あなたの体調管理をサポートします。

大切な本番を迎えるあなた。

メンテナンスを始めませんか。

飲んでカラダを バリアする^{*}

ボディメンテ



+ タンパク質
ゼリー



+ 電解質
ドリンク

^{*}「バリアする」とは、コンディショニングに
欠かせない成分が、いつもと変わらない
体調と自分らしさを守ることです。



Otsuka 大塚製薬 お客様相談室 TEL:0120-550708 ボディメンテ公式サイト:<https://www.otsuka.co.jp/bdm/>



MINING THE FUTURE

きみの未来になるメタルを
僕たちは届ける。

MINING THE FUTURE

 住友金属鉱山

SUMITOMO METAL MINING



<https://www.smm.co.jp/>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

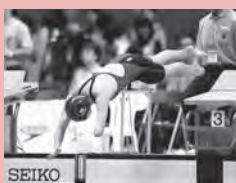
アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

日本パラリンピック委員会 女性スポーツ委員会



日本パラリンピック委員会(JPC)では、2017年4月に女性アスリートおよび女性スポーツに関わるコーチ、指導者等の声が、JPC及びJPC加盟競技団体の組織運営に有効的に活用され、パラリンピックムーブメントをより強力に推進することを目的に、JPC女性スポーツ委員会を設置しました。

JPC女性スポーツ委員会では、パラスポーツにおける女性スポーツに関する情報発信やメールでの相談をお受けしています。トレーニングでの悩みや食事のこと、身体の不調や女性アスリートを指導する上で気になっていることなど、選手・コーチ・指導者・保護者どなたでもお気軽にご相談ください。

JPC女性スポーツ委員会専用ホームページはこちら 



JPC女性スポーツ委員会の活動や女性スポーツに関わる様々な情報を発信していきます。

URL:<https://www.parasports.or.jp/paralympic/jpc/womens.html>

JPC女性スポーツ委員会では、産婦人科医師の委員や事務局員がメールでのご相談をお受けしております。

JPC女性スポーツ委員会相談窓口はこちら 



JPC女性スポーツ委員会へのご相談

(JPC事務局が対応致します)

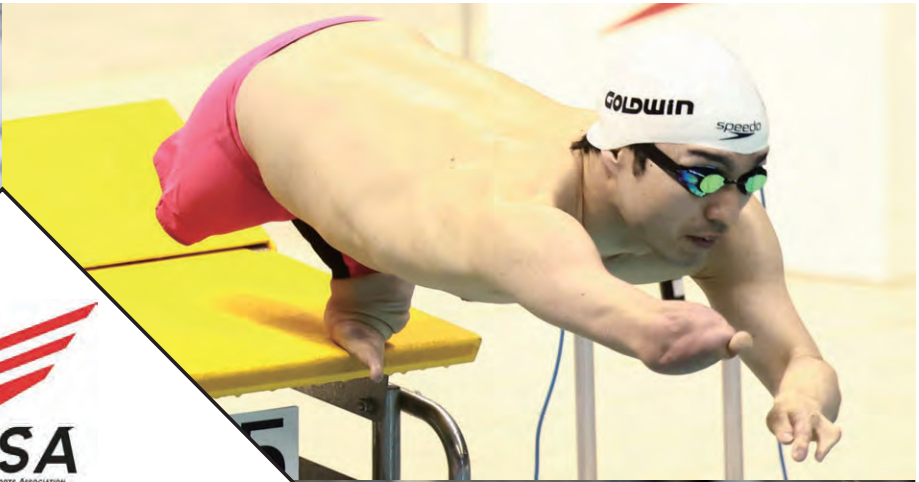
jpc-womensports@parasports.or.jp



女性アスリート特有の身体的課題等のご相談

(産婦人科医師が対応致します)

fsports-project@umin.ac.jp



日本パラスポーツ協会公式SNS

https://twitter.com/jpsa_sports/



Instagram



X (旧 Twitter)

<https://www.facebook.com/jpsasports/>

Facebook



フォロー
お願いします

日本パラスポーツ協会
公式ホームページ



パラスポーツ情報
満載です！



●観戦にあたってのお願い

- ・会場施設内の移動は定められた動線に従ってください。
- ・競技の運営/進行を妨害し、他者に迷惑/危険を及ぼす物や、そのおそれのある物は持ち込み禁止とします。
- ・ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ・貴重品は各自の責任において管理してください。
- ・レフェリーが「クワイエットプリーズ!」とコールしたら、「静かにしてください!」の合図です。ゴールが決まった時のレフェリーのコール後やゲームが止まっているときは音楽が流れますので、大きな応援を送ってください。



●撮影についてのお願い

2024ジャパンパラゴールボール競技大会に関する知的財産権は大会主催者に帰属します。選手の肖像権など知的財産が不正に営利目的で使用されることを防ぐため、観客席でのレンズ交換ができるカメラ、デジタルビデオカメラを使った撮影は、下記の方に限ります。

- ①大会運営本部より許可され、ビブスを付けたカメラマン
- ②出場選手の所属クラブ等の関係者、家族等



②に該当する撮影希望者で、レンズ交換ができるカメラ、デジタルビデオカメラを使った撮影を希望する場合は、受付にて「写真撮影誓約書」を記入してください。撮影した写真は非営利の私的利用に限られます(商用利用は禁止です)。許可なく撮影をしていると思われる方を見かけた場合、確認をさせて頂く場合があります。

上記に該当する方以外は、携帯電話、スマートフォン、レンズ交換のできないコンパクトデジタルカメラ等で撮影することができますが、写真の使用は個人の利用に限られます。また、競技中のフラッシュ撮影はいかなる場合も禁止します。



2024ジャパンパラゴールボール競技大会 競技会場アクセスについて

会場 所沢市民体育館

(埼玉県所沢市並木5丁目3番地)

アクセス

<交通機関>

西武新宿線「新所沢駅」下車・東口より徒歩約10分

<バス>

新所沢駅東口発所沢ニュータウン・西武フラワーヒル・

本川越行きにて「所沢市民体育館前」下車徒歩1分

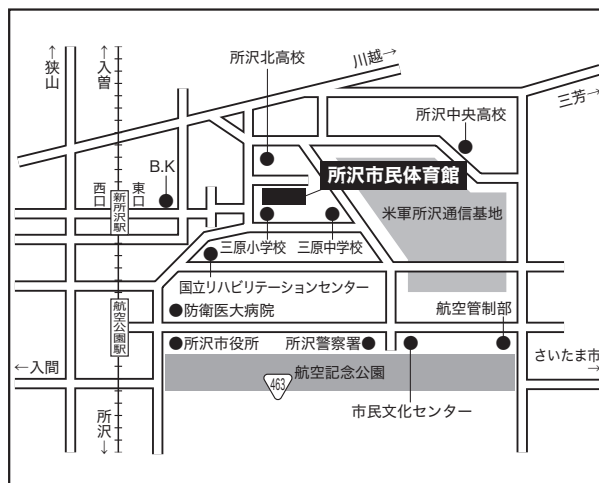
<車>

関越自動車道「所沢IC」から「所沢市民体育館」まで6.3km

関越自動車道「川越IC」から「所沢市民体育館」まで9.4km

会場サイト

<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/shisetu/sportskoen/sports/simintaiikukan/>



※本大会開催中において発生した一切の事故や傷病・疾病などに関し、応急処置を除いて、主催者、関係各所は一切の責任を負いかねます。

皆様のご理解ご協力の程よろしくお願致します。

※都合により、大会スケジュールを変更する場合がありますので、ご了承ください。

※大会当日、会場周辺道路は混雑が予想されます。お越しの際は公共交通機関をご利用下さい。

公認 パラスポーツ指導者になりませんか?

公益財団法人日本パラスポーツ協会が資格認定している指導者で、6種類の資格を設けています。障がいの特性に応じたスポーツ活動の支援をするための専門的な技術を有し、パラスポーツの意義と価値を自覚し、地域の障がい者を運動やスポーツへと導くことが求められています。

資格の取得方法や受講対象者の種類・条件等の詳細はこちらよりご確認ください



初級 パラスポーツ 指導員

満18歳以上の方であれば
誰でも取得可能です

障がい者のスポーツ参加の きっかけ作りを支援します

健康や安全管理に配慮した活動を行い、スポーツをすることの喜びや楽しさを伝える役割を担います。地域の大会や教室の運営サポートなどを通じて、一緒に楽しむことから始めましょう。



中級 パラスポーツ 指導員

専門的な知識と技術、 経験に基づいた活動を提供します

地域のパラスポーツ活動におけるリーダーとして、スポーツ大会や行事において中心となって活動し、パラスポーツの普及・振興を支えます。



上級 パラスポーツ 指導員

高度な専門知識と豊富な指導経験を持ち、 パラスポーツの意義や価値を 広く社会に伝えます

関係団体と積極的に連携を図り、大会やイベント等をマネジメントするなど、地域のパラスポーツの普及・発展におけるキーパーソンとしての役割を担います。

◆その他の資格

(既に特定の資格を保有されている方や
パラスポーツ関係団体での活動がある方向け)



パラスポーツトレーナー



パラスポーツコーチ



パラスポーツ医



初級パラスポーツ指導員

松本 優依

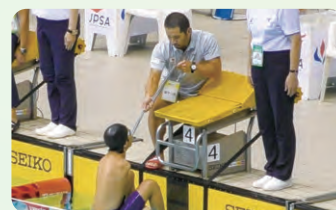
所属：桐蔭横浜大学

voice 資格取得者の声

パラスポーツコーチ

岸本 太一

所属：一般社団法人
日本パラ水泳連盟



▶パラスポーツ指導者としてのやりがいや喜びは何ですか？

これまでスポーツをする側でしたが、パラスポーツ指導員になってからは、運営側に携わるようになり、バリアフリーなど参加者のリスク管理に気付けるようになりました。それぞれの障がい特性に応じたサポートを通じて、新たにスポーツを始めるお子さんや幅広い年代の方々と一緒にスポーツの楽しさを共有できることは大きな喜びです。

▶パラスポーツ指導者としてのやりがいや喜びは何ですか？

パラリンピックが目指す4つの価値(勇気、強い意志、インスピレーション、公平)を感じながら選手の人生に付き合えることが、パラスポーツの指導者として大きなやりがいとなっています。選手一人一人の「SPECIAL NEEDS」を知り、目標に向かってともに励む時間がとても充実しています。そして、目指していた舞台と一緒に立てた時、目標を達成できた時に、大きな喜びと感謝の気持ちが溢れます。

Q&A よくある質問

Q. 講習会はいつどこで開催されますか？

A

講習会は各地域、または関係団体で行っており、各講習会で開催時期や申し込み期間、受講対象者が異なります。詳しくは主催団体のHP等をご確認いただき、申し込みの手続きを行ってください。(当協会HPでも随時講習会情報を掲載しています)

Q. 資格取得後、活動するにはどうすれば良いですか？

A

各都道府県にはパラスポーツの振興を進める団体として「パラスポーツ協会」、「パラスポーツ指導者協議会」などがあります。そのような関係団体から、活動の情報を取り入れ、イベントなどに積極的にご参加ください。障がいのある方のスポーツ活動の目的は様々です。目的に応じた支援・指導を心がけましょう。

2024 ジャパンパラゴールボール競技大会

◆公式 YouTube による生配信実施



◆大会観戦者アンケート



観戦者アンケートにご回答いただいた方には、受付にてジャパンパラ事務局よりささやかなプレゼントを差し上げます。回答完了ページを受付係員に提示してください。



Japan Para Championships



ホームページ
<https://www.parasports.or.jp/japanpara/>



公式YouTubeによる
生配信も実施!
<https://www.youtube.com/user/jsadchannel>

JPSAオフィシャルパートナー

